



Marie Fujii



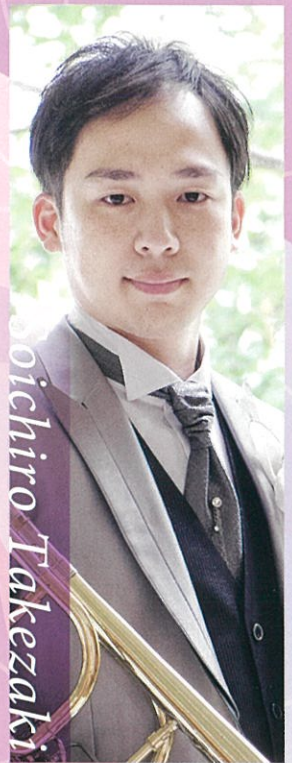
Fumiyu Tanaka



Ayumi Kanagawa



Kanako Yasuda



Koichiro Takezaki

オーディションによって選ばれた
将来を期待される音楽家たちが広島交響楽団と夢の共演！
限りない可能性を秘めた、若さあふれるフレッシュな演奏をお楽しみください

新進演奏家育成プロジェクト

オーケストラ・シリーズ 第37回 広島

藤井麻里映

【くらしき作陽大学 卒業】

ロッシェニ

歌劇「セミラミード」より
「美しい光が」

プッチーニ

歌劇「つばめ」より
「ドレッタの夢」

田中郁也

【くらしき作陽大学 卒業】

ブルッフ

スコットランド幻想曲 Op.46

金川歩

【武蔵野音楽大学 卒業】

ロッシェニ

歌劇「セミラミード」より
「美しい光が」

プッチーニ

歌劇「トゥーランドット」より
「この御殿の中で」

保田奏子

【洗足学園音楽大学 卒業】

コッヘル

マリンバ協奏曲第1番

武崎創一郎

【国立音楽大学 卒業】

ネリベル

バス・トロンボーン協奏曲

2017年

12月22日[金] 開演 18:30
(開場 18:00)

JMSアステールプラザ大ホール



指揮：末廣 誠



管弦楽：広島交響楽団

料金

全席自由 / 2,500円(税込)

チケット
取扱い

エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド
福屋広島駅前店チケットサロン・中国新聞社読者広報部・広響事務局

※都合によりプログラム等を変更する場合がございます。※就学前のお子様のお入場はご遠慮ください。

主催：文化庁、公益社団法人日本演奏連盟、公益社団法人広島交響楽協会
制作：公益社団法人日本演奏連盟、公益社団法人広島交響楽協会
後援：中国新聞社

◎お問い合わせ
広響事務局 TEL.082-532-3080[平日 9:00~17:20受付]



Marie Fujii

藤井麻里映

広島県福山市出身。くらしき作陽大学音楽学部音楽学科卒業。在学時平成25年度特待生。第20回全日本ジュニアクラシックコンクール奨励賞受賞。平成25年度同大学卒業演奏会、第39回中四国新人演奏会出演。倉敷オペラ研究会で「魔笛」童子役、ルネスホールオペラで「椿姫」フローラ役で出演。2000年、2012年、2015年度イタリア・パディアプラターリア夏季音楽講習会を受講。2015年8月から3か月間、2017年10月から2か月間イタリア・ヴェローナへ短期留学。2016年2月ふくやま芸術文化ホール・リーデンローズにて初めてのソロリサイタルを開催。これまでに三原直美、元吉恵子、Leone Magiera、Renata Truke、Paola Fornasari Pattiの各氏のもとで研鑽を積む。



Fumiya Tanaka

田中郁也

広島音楽高等学校卒業。くらしき作陽大学音楽学部にて特待生として入学。在学中ブラハ交響楽団京都市公演にエキストラ出演。卒業後、北イタリア音楽セミナー受講。ヴェルディ音楽院祝祭管弦楽団のメンバーとしてオペラ「椿姫」ミラノ公演に出演。フランスfugato academy festivalに参加。弓室内合奏団とバッハのヴァイオリン協奏曲第2番、福山楽友協会管弦楽団とサン・サーンスのヴァイオリン協奏曲第3番を共演。現在、岡山フィルハーモニック管弦楽団員。これまでにヴァイオリンを小島秀夫、佐藤一紀、上里はな子、ナダデジュ・トカレフ、ディアナ・ケメルマンの各氏に師事。ピアノを吉田みどり、溝手由紀子、小嶋素子、渡邊康雄、渡辺陽子の各氏に師事。中四国を中心に活動している。



Ayumi Kanagawa

金川歩

2006年武蔵野音楽大学を準首席で卒業。在学中、成績優秀者による選抜コンサート、同大学卒業演奏会、同大学新人演奏会に出演。また同年同大学オペラ公演「フィガロの結婚」にてマルチェリーナ役で出演。2009年同大学大学院修士課程修了。2010年からはイタリアに渡り、メゾ・ソプラノからソプラノに転向。トゥーランドットを高く評価され、ミラノ・プレッシャ・シチリアでの国際コンサートで日本人にしてグランド・フィナーレを飾った。2014年東京国際芸術家協会声楽コンクールでは関西大会第1位で神戸新聞社賞受賞、全国大会では1位不在による第4位に入賞。2017年ペーテン音楽コンクールでは地区予選にて最優秀賞受賞。バロックから近現代、コロラトゥーラからスピントまで幅広いジャンルのレパートリーを持つドラマチック・ソプラノ。これまでに声楽を近藤和展、岩永圭子、岡崎雅明、E. オブラスツォフ、V. テッラノーヴァの各氏に師事。



Kanako Yasuda

保田奏子

広島県出身。広島音楽高等学校卒業。洗足学園音楽大学打楽器コースを首席で卒業。卒業演奏会出演。在学中、成績優秀者として前田奨学金を3年連続授与。第86回読売新人演奏会出演。長江杯国際音楽コンクール一般マリンバ部門入賞。今年度の大学院コンチェルトのタペオーディションにてソリスト選出、大学院室内管弦楽団と共演。これまでに打楽器、マリンバを、小川裕雅、安本由美子、森茂、神谷百子、小川佳津子の各氏に師事。室内楽を石井喜久子氏に師事。



Soichiro Takezaki

武崎創一郎

栃木県出身。トロンボーンを中学3年から始める。県立真岡高等学校を卒業、国立音楽大学にて学ぶ。トロンボーンを箱山芳樹、古賀慎治、池上亘、菊池公佑の各氏に師事。大学卒業後フリーランスとして、首都圏のプロオーケストラや吹奏楽団のエキストラ、映画やCMのレコーディング、後進の指導など幅広く活動する。第3回仙台トロンボーンコンペティション第1位、第7回関西トロンボーン協会ワークショップ・コンクール成人ソロの部第1位をそれぞれ受賞。2014年より広島交響楽団バストロンボーン奏者を務める。

指揮/末廣 誠

桐朋学園大学修了。1989年、N.リムスキー＝コルサコフのオペラ『サルタン王の物語』の日本初演において訳詞及び指揮を担当し、高い評価を受ける。以後オペラを数多く手がけ、豊富なレパートリーを誇っている。バレエでも多くの作品に参加しており、舞台作品における技量は各界から厚い信頼を得ている。

1990年ハンガリーにおいてサボルチ交響楽団を指揮。同年、ワイマールで開催された国際セミナーでイエナー・フィルハーモニー管弦楽団を指揮し、チューリンガー・アルゲマイネ紙に「真にプロフェッショナルな指揮者」と称賛される。1991年、第4回フィッテルベルク国際コンクールにおいて第1位ゴールドメダルとオーケストラ特別賞を併せて受賞する。翌年よりポーランド国立放送交響楽団をはじめとする各地のオーケストラに招かれ、クラコフ放送交響楽団の首席客演指揮者に就任。また、国立シレジア歌劇場においてヨーロッパにおけるオペラデビューを果たし、定期客演指揮者として多くの作品を指揮している。

帰国後は群馬交響楽団を経て1995年から1999年まで札幌交響楽団指揮者を務め、多岐にわたる活動を続けている。2016年には、ウィーン楽友協会合唱団のモーツァルト「レクイエム」を指揮し大好評を得た。高いレベルの演奏を引き出す手腕には定評があり、今後の活躍が期待されている。また、執筆活動のほか演奏会の司会や企画にもその才能は遺憾なく発揮されている。レッスンの友社よりエッセー「マエストロ・ベンのお茶にしませんか?」を刊行。



管弦楽/広島交響楽団

国際平和文化都市「広島」を本拠地とし、中・四国を代表するプロオーケストラ広島響は、2017年4月より下野竜也が音楽総監督を、クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者を務めている。2004年から2016年まで音楽監督・常任指揮者を務めた秋山和慶は、2017年より終身名誉指揮者に就任した。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバリー・シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート、巡回コンサートなど年間約140回を超える演奏活動を行っている。これまでに「広島市功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際文化交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞(2013年度)」を受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp/>